

# IGF2023に向けた国内IGF活動活発化チーム 第22回会合議事録

開催日時：2022年8月1日(月)17:00-19:00

参加者（五十音順・敬称略）：計24名

飯田	陽一	総務省
上田	格	日本電気株式会社(NEC)
加藤	彰浩	総務省
加藤	幹之	MK Next（司会進行）
兼保	圭介	NEC
上村	圭介	大東文化大学
河内	淳子	一般財団法人国際経済連携推進センター(CFIEC)
木村	孝	JAIPA
実積	寿也	中央大学
柴田	輝之	総務省
Suga	Yuji	Internet Initiative Japan Inc.
高松	百合	株式会社日本レジストリサービス(JPRS)
立石	聡明	JAIPA
田中	和彦	一般財団法人日本 I T U 協会
辻中	伸生	日本ネットワークイネイブラー株式会社(JPNE)
中田	諭輔	JPNE
西潟	暢央	総務省
根津	智子	JPNIC
浜田	忠久	JCAFE
堀田	博文	JPRS
本田	聖	個人

前村 昌紀 JPNIC

森口 友里 株式会社インターリンク

森下 大 総務省

山崎 信 JPNIC (議事録作成)

開催場所： オンライン開催

資料：

1. プログラム委員会からの報告
  - 1-1 テーマセッション各提案の今後の進め方について
  - 1-2 [審査における課題及び次回イベント時への申し送り事項\(暫定案\)](#)
2. [組織化活動に関する報告](#)
3. [ユース活動案](#)
  - 3-1 [ユースIGF整理](#)
4. [活発化チームチャーター改定案](#) (第21回会合資料)

## アジェンダ：

### 1. 本日の打合せの目的確認

- IGF2023ホストである日本政府としての準備状況の進捗報告および共有
- MAG会合の報告および共有
- 2022 秋イベント (日本インターネットガバナンスフォーラム2022~IGF2023 日本開催を見据えて) について
- NRI組織枠組み・仕組みの素案について
- ユース活動の方針提案について
- チーム定例会合の運営方法について

### 2. 前回議論の振り返り

第21回会合議事録 [資料：(igf2021:809)] を参照のこと

### 3. 宿題の進捗確認

[IGF 2023に向けた国内IGF活動活発化チームtodo一覧表](#) を参照のこと

## 4. IGF2023ホスト（政府）としての検討状況報告

総務省加藤氏より、9月上旬に国連IGF視察団数名が日本を訪問し、複数の国内候補地を視察するとともに、9月7-8日頃東京で関係者と面談予定である旨共有があった。

総務省飯田氏からは、以下の旨共有があった。

- 会場については9月中に国連で最終決定される予定。
- IGF 2023受け入れ態勢としての実行委員会／協議会を作るにあたっては、まず発起人を集め、10月事前イベント時には形が見えているとよい、総務省は財政面も含む下支えを行いたい。
- 実行委員会／協議会はIGF 2023終了後、形を変えるか終了することになる。

## 5. IGF MAGメンバーからの報告

河内氏より [7月6日から8日にかけてジュネーブで開催されたMAG会議](#) について、以下の通り報告があった。

- 提案されたセッションが245件あったのに対し、会場の制約で79セッションに絞られた。
- 2023年秋に国連が開催する予定の、[未来サミット](#) においてデジタルに関する宣言を出す予定で、[グローバル・デジタル・コンパクト](#) を基にしてそれへの [意見募集が9月末まで行われる](#) 旨共有された。
- IGF 2022の開催地についての懸念がMAG委員から出されたが、開催国エチオピア政府からの参加者は問題ない旨発言したとのことである。

## 6. 秋イベント（事前会合／本会合）およびプログラム委員会について

上村氏より、資料1にて説明があり、主に全体構成、オープニングセッションの内容についての議論状況が共有された。

堀田氏より、提案されたテーマセッションの選定結果について資料1-1、1-2に基づいて説明があった。

## 7. NRI組織枠組み／仕組みについて

前村氏より、前回21回会合時の資料に修正を加えたもの(資料2)にて説明があった。特に質疑はなかった。併せて、実行委員会の働きかけ先候補についても共有があった。

## 8. ユース活動について

上田氏より、資料3-1に基づいて、ユース活動案についての目的、目標、所感について説明があった。山崎より、資料3に基づき、上田氏のコメントを反映したものの十分でないため、さらに改善したい旨発言した。

## 9. チーム会合の運営について

本田氏より、アジェンダ案上で委員会を増やすなどの提案がなされていたが、チェアから発言を求められた際に退席しており、会議終了間際に復帰された際に特に強調したい点について説明があった。

## 10. 本日の議論を受けたTodo確認

Todo 1. 総務省側実行委員会／協議会について

- 引き続き状況を共有する（飯田）

Todo 2. 秋イベント

- 引き続き状況を共有する（上村）

Todo 3. NRI組織枠組み

- ドラフト文言修正、次回会議で文書を確定させる（前村）

Todo 4. ユース

- 次回までに本日の議論を反映させたいうえで資料を改版する（山崎）

Todo 5. チーム会合の運営

- 趣旨を明確にしたうえで、提案内容をメーリングリストに送付する（本田）

## 11. 次回会合開催日時

- 8月22日（月）17時-19時とする